

①②を記入する(必要に応じて更新)

①児童生徒の基本情報				
学部・学年・組		障害の状態等(障害名・病名・実態概要・障害の特性等)		
部 年 組		[網掛け]		
普通のICT活用状況	分類	普通のICT活用状況	操作スキル	情報モラル
①対象児童生徒について、ICTに関わる情報を記入する。できること、課題・目標とすることを、右の表を参考に記入する。	内容	<ul style="list-style-type: none"> SNS、メール等の活用状況 家庭での活用状況(使用時間、使用機器・アプリケーション等) 学校での活用状況(授業以外も含む) 児童生徒にとってICT機器があればできること 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の入力方法(ローマ字入力、フリック入力等) 端末の操作(端末の起動や終了ができる、カメラアプリを用いて撮影ができる、アプリケーションの切り替えができる等) 	<ul style="list-style-type: none"> 指導者からの言葉がけて、操作を止めることができるか これまでにあったトラブル(課金等の金銭に関すること、友達とのやりとり等) 不確かな情報は保護者等に相談しているか

このシート内には個別の指導計画・個別の教育支援計画と共通の項目がありますので、共通の項目を参考にして記入したり、このシートに記入したことを個別の指導計画・個別の教育支援計画に反映したりして活用していただけます。

②児童生徒が思いや願いを叶えるために必要な力

児童生徒の思いや願い

②「アセスメントシートA」を用いるなど実態把握を行い、そこからくみ取ったり理解したりした児童生徒の思いや願いを記入する。

長期目標(近い将来の姿)	今の姿	短期目標(必要な力)
児童生徒が思いや願いを叶えた近い将来の姿を想定し、長期目標を設定する。	児童生徒が見せる行動や言葉等、ありのままの今の姿を記入する。	長期目標と今の姿の比較から、児童生徒に必要な力を考え、短期目標を設定する。

実践の過程・実態の捉え直しを積み重ねる

・実施日 ・会議名 ・参加者	構想・指導内容 支援についての評価と課題や、実態の捉え直しにより気付いたことを生かして、次の指導や支援を構想する。	記入のポイント 児童生徒の姿や、支援についての評価と課題は、できたことだけでなく、うまくいかなかったことも含めて記入することで、継続すべき支援や、改善が必要な点が明確になります。また、児童生徒の実態の捉え直しは、児童生徒のありのままの姿を複数の指導者から情報収集し記入することで、変化の連続性や関連性についても整理することができます。
・実施日 ・会議名 ・参加者	実態の捉え直し 再度「アセスメントシートA」を用いて実態を捉え直す。	実態の捉え直しにより得た情報(児童生徒の姿の変化や新たに見られた姿等) 児童生徒の姿の変化や新たに見られた姿を基に、指導・支援の改善点や変更点等を記入する。その際、児童生徒の思いや願いから実践内容がかけ離れていないかの確認を併せて行う。
・実施日 ・会議名 ・参加者	構想・指導内容 ①②から構想した指導や支援について、教科等・指導内容、支援の内容(合理的配慮、手立て等)を記入する。	記録 児童生徒の姿(見られた行動・発した言葉等) 実践における児童生徒の姿として、見られた行動や発した言葉等を具体的に記録する。使用した教材・教具・機器等を記録する。
		分析・評価 支援について分析・評価を行い、課題を記入する。

実践を構想し、実践の記録を基に分析・評価を行う。

①②を記入する(必要に応じて更新)

①児童生徒の基本情報			
学部・学年・組		障害の状態等(障害名・病名・実態概要・障害の特性等)	
	部	年	組
普段のICT活用状況	学校内	学校外(家庭等)	
操作スキル	できること	課題・目標等	
情報モラル	できること	課題・目標等	
			その他

②児童生徒が思いや願いを叶えるために必要な力		
児童生徒の思いや願い		
長期目標(近い将来の姿)	↓	今の姿
	↓	↓
		短期目標(必要な力)

実践の過程・実態の捉え直しを積み重ねる

・実施日 ・会議名 ・参加者	構想 教科等・指導内容 支援の内容(合理的配慮、手立て等)	記録 児童生徒の姿(見られた行動・発した言葉等) 使用した教材・教具・機器等	分析・評価 支援についての評価と課題
	実態の捉え直し アセスメントシート A 情報の追記・整理 実態の捉え直しにより得た情報(児童生徒の姿の変化や新たに見られた姿等) 実態の捉え直しにより気付いたこと(指導・支援の改善点や変更点等)		
・実施日 ・会議名 ・参加者	構想 教科等・指導内容 支援の内容(合理的配慮、手立て等)	記録 児童生徒の姿(見られた行動・発した言葉等) 使用した教材・教具・機器等	分析・評価 支援についての評価と課題